

おおふなとボランティアフェスティバル

世代問わず心通わせる場

10月6日、県立福祉の里センターで、「2019おおふなとボランティアフェスティバル」が行われました。

本フェスティバルは、身近にボランティア活動に触れる機会を設けることなどを目的に開催。

会場は、チャリティバザーや手話、点字などの体験コーナーのほか、大船渡中学校の合唱やおおふなトンステージショーなどで盛り上がりました。



プロ野球ドラフト会議

球界ナンバーワン投手に

10月17日、プロ野球ドラフト会議において、大船渡高校の佐々木朗希選手が、パシフィック・リーグ4球団から1位指名を受け、抽選の結果、千葉ロッテマリーンズが交渉権を獲得しました。

三陸公民館でその状況を見守っていた学校関係者、野球部員、保護者など約230人から、大きな拍手が送られました。

記者会見では、佐々木選手から、今後の抱負や、これまで支えてくれた方々への感謝に加え、地域の野球少年たちを励ますあいさつがありました。

今後、球団側と正式な入団に向けた交渉が行われます。佐々木朗希選手、おめでとうございます。



(5) 広報大船渡 令和元年11月5日号(No. 1162)

北里大学市民公開講座

最先端の研究成果を学ぶ



10月19日、総合福祉センターで、北里大学市民公開講座を開催しました。

この講座は、本市と連携協力協定を締結している北里大学が有する、最先端の研究成果を市民生活に生かすことを目的に行っており、今回で5回目となります。本年は「健康」をテーマに、認知症研究とがん医療の2講座が行われ、参加者は、最新の医療情報や研究成果を熱心に聞いていました。



これまで一緒にプレーしてきた仲間と喜びを分かち合いました。



大船渡高校は、第101回全国高等学校野球選手権岩手大会で準優勝し、市民に勇気と感動を与えてくれました。

トピックス 1

定住自立圏形成協定締結式

10月2日、市役所において、本市と住田町の定住自立圏形成協定締結式を行いました。

式には、戸田市長と熊谷市議会議長、住田町から神田町長と瀧本町議会議長が出席。定住の受け皿となる魅力ある住みよいまちづくりに向けて、両市町が一体となった取り組みを進めていくことを確認し、協定書に調印しました。

今後、圏域の将来像や具体的な取り組みを盛り込んだ「定住自立圏共生ビジョン」を策定し、医療、福祉、教育、産業振興、地域公共交通などの分野で連携していきます。



①定住自立圏形成協定の締結は、県内では4例目となります
②協定書に署名する戸田市長と神田町長



トピックス 2

アサヒグループ・コミュニティ助成事業に係る助成金贈呈式

10月17日、市に対して、アサヒグループホールディングス株式会社より、助成金が贈呈されました。同社は、東日本大震災で被災した市町村の復興支援として、郷土芸能の保存・発展に寄与するコミュニティ活動などに助成金を交付。本市では、平成26年から6年間で延べ20団体に支援いただきました。

贈呈式には、本年度助成を受ける野形町内会、上甫嶺自治会、浦浜念仏剣舞保存会の代表者が出席。同社の染谷マネジャーからの贈呈に対し、各団体から感謝の言葉が述べられ、郷土芸能保存への決意を新たにしました。



①郷土芸能の装束や小道具の整備に大切にに使わせていただきます
②昨年度の助成金により整備した装束などの一例

トピックス 3

岩手県暴力団追放県民大会・大船渡市暴力追放市民大会

10月21日、リアスホールで、県暴力団追放県民大会および市暴力追放市民大会が開かれました。

この大会は、暴力団のない安全で明るく住みよい岩手の実現に向け、「わが町に 入れない寄せない暴力団」をスローガンに開催。大会では、県警察本部による講話や、県警察音楽隊による演奏、「わたしの主張気仙地区大会」上位入賞者である大船渡中学校、第一中学校、綾里中学校生徒による発表などが行われました。

参加者は、暴力団の現状や、安全な社会づくりに理解と関心を深めました。



①県内の暴力団の状況などを説明する向井組織犯罪対策課長
②大船渡保育園児によるしし踊りも行われました